

乳癌の患者さん情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター外科(乳腺科)では、「ホルモン受容体陽性・HER2 陰性乳癌かつ T1a/b 症例における術後薬物療法の施行状況、および予後の検討」に参加することになりました。

この研究の目的は、今後、JCOG 乳癌グループ*1が低リスク乳癌に対して内分泌療法を省略することについての前向き検証試験を計画するにあたり、症例数や対象群の設定などを決定するため、乳癌の患者さんの術後薬物療法の施行状況、および予後・予後因子を検討し明らかにすることです。

*1: JCOG (Japan Clinical Oncology Group: 日本臨床腫瘍研究グループ) 乳癌グループ

この研究のため、2008年1月1日より2012年12月末までに乳癌の手術を受けた方の診療録の調査を行います。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報(年齢、臨床病理学的因子、治療内容、再発状況、生存期間など)のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは本研究の代表であります名古屋市立大学乳腺内分泌外科に、電子的配信にて送付され、厳重に管理されます。本研究における他の参加施設情報については別紙をご覧ください。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2021年4月

研究責任者

東京医療センター 外科(乳腺科)

松井 哲

連絡先 03-3411-0111(代表)